

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104860
法人名	医療法人 佑志会
事業所名	グループホーム 花々館郡山
所在地	鹿児島県鹿児島市郡山町2157番地1 (電話) 099-298-2688
自己評価作成日	令和5年2月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者様やご家族の皆様が安心して、穏やかで笑顔の絶えない、毎日が過ごせるような施設作りを心がけております。
- ・医療法人を母体としており、24時間を通して医療との連携を図り、緊急時対応の整備も図れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、運営母体の医療法人とは24時間の医療連携体制が整っており、週1回の看護師による健康管理や3ヶ月毎の受診により、本人・家族の医療面における安心となっている。
- ・コロナ禍のため窓越し面会が続く中、家族からの日々の様子を知りたいとの要望に応じて、毎月の状況報告やケアプラン送付時の写真同封などに取り組み、家族とのつながりが継続できるよう取り組んでいる。
- ・コロナ禍のため行事での外出は制限されているが、利用者が楽しく笑顔で過ごせるよう、敷地内の散歩や医療機関リハビリを兼ねたドライブで気分転換を図ったり、室内での初詣で正月気分を味わってもらえるよう工夫している。
- ・管理者は、職員の質の向上のため、資格取得や研修受講を支援し、職員が向上心を持ってケアに取り組めるよう図っている。また、個々の職員の体調管理やメンタルケアへの配慮を欠かさず、気軽に相談できる雰囲気づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り後に理念の唱和を行っている。	理念は重要事項説明書及びパンフレットに記載し、ホールに掲示している。毎朝申し送り時に唱和し、スタッフ会議で理念に沿ったケアになっているかを振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り回覧板のやり取りを行っている。コロナ禍で地域の行事には参加出来ていません。	自治会に加入し地域行事は回覧板で把握している。コロナ禍のため参加は自粛していたが、来年度は参加を予定している。敷地内の散歩時に近隣の住民と挨拶を交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	入居相談の電話や見学に来られた方々に対し、助言を行う事もある。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回の開催を行う様になっておりますがコロナ禍の為、活動状況、その他の報告は文章にて行っている。	運営推進会議はコロナ禍のため2ヶ月毎に書面での開催となっている。報告等の資料を自治会長及び民生委員に持参し、その他の委員には送付している。今後は委員からの意見をサービス向上に活かせるよう把握方法を検討予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	関係機関へ情報収集を行ったり、助言を頂いている。	支所の担当者とは窓口に出向いての相談等で連携を図っており、市からは文書・メールで連絡を受けている。市のオンライン研修会に参加しており、来年度は介護相談員の受け入れも予定している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフが正しく理解出来るよう、2ヶ月に1回スタッフ会議内で勉強会を行っている。疑問に思うことがあれば、カンファレンス等も行っている。	指針を作成し、2ヶ月に1回委員会と勉強会を実施している。勉強会では委員会の結果報告と事例研修を行ない、職員の正しい理解を深めている。馴れ馴れしい不適切な言葉や態度は職員同志で注意しあい、日中の玄関の施錠はせず、外に出たい利用者には声掛けやドライブなどで対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会を中心に虐待について勉強会を行っている。また職員の精神面の安定も重要である事を、日頃の関わりの中で意識している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	学習委員会を中心に勉強会を行っている。コロナ禍で外部研修に参加は出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者や家族の不安や疑問を和らげ、状況に応じて、繰り返し説明を行うことで、理解・納得をして頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族面会時、気軽に話が出来るように声かけを行い情報共有している。入居者様と話す機会を積極的に持つようにし、日々のケアに繋がるように努めている。</p>	<p>利用者には日常の中で聞いており、外出や嗜好品購入の要望に対応できるよう努めている。家族には面会時や電話で要望を聞いており、日々の様子を知りたいとの要望を受けて、毎月の状況報告やケアプラン送付時の写真同封等に取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月一回スタッフ会議を開催している。日々の申し送りを利用して、スタッフの意見を聞き、検討、改善に努めている。</p>	<p>月1回のスタッフ会議で管理者及び法人職員は職員の意見等を聞く機会を設けている。物品購入や修理の希望等は法人での速い対応で、ケアに関する意見は、試行結果で継続を検討する等、職員間の意見統一を図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行っております。取得後は手当てとして、給与にはんえいし、職場内で活かせるように労働条件作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修への参加を積極的に受けられるように機会の確保に努めている。コロナ禍で参加出来ていない他の研修への確保に努めたい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月に一回、向上委員会を開催し、質の向上に向けて意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の聞き取り、面談を行い、家族からも情報収集を行っている。入居後は利用者の小さな変化を見逃さないように心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の聞き取りや面談をしっかりと行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	協力機関や入居前の医療機関、施設等と連絡を取り、入居者の日常生活が継続出来る様対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様のこれまでの生活習慣の中での出来る事、得意な事をさりげなく自然な形で取り組んで頂ける様声掛け、場面作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	窓越しの面会時に日頃の様子を報告したり、電話を取り次ぐ等の支援を行っている。食事や水分が進まない時は家族にも相談して一緒に考えるなどしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人への電話での取り次ぎを支援したり、居室内は自宅の様に馴染の物を持ってきて頂き、また馴染の美容室の方に来館してもらう等の支援をしている。	家族・知人との窓越し面会や携帯電話での通話、馴染みの訪問理美容利用等を支援し、これまでの関係継続に努めている。週2～3回の医療機関リハビリは、知人と会ったり馴染みの場所へのドライブの機会となっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士の座席に配慮し、居室やフロアでのなげない会話や活動が充実出来るように工夫している。必要に応じてスタッフが介入している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、家族や入居者の相談が出来る様な関係作りに努めている。また、協力機関との情報共有や連携を図る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方の生活歴、家族構成等を把握し、その情報を会話のきっかけとしたり、日々の言動等から一人一人の思い、ここでの暮らし方の希望、意向の把握に努め、本人本位で検討している。また困難な場合は家族に支援をお願いしている。	日常の中での、特にお茶や入浴・夜勤帯等のゆっくりした時間の何気ない会話から、本人の思いを把握するように努め、情報は個人記録で共有している。困難な場合は、家族やかかわりの長い職員からの情報を参考に意向を推測して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人家族、または担当ケアマネージャー等から情報収集し、また新しく知り得た情報もスタッフ間で共有できるようにし、その方らしい生活が出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の心身状態を把握し、その度に記録に残し、職員間で情報共有し、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の個別カンファレンスで一人一人の状況について情報共有し、本人・ご家族の意向や要望を取り入れたケアプランの作成を行っている。	本人及び面会時や電話で聞いた家族の要望を基に、カンファレンスでの職員の意見を取り入れて介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎に、見直しを6ヶ月毎に及び状況変化時に実施し、現状に合った支援計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に記録用紙を用意し、本人の日々の暮らしの様子を記録し、いつでもスタッフが確認でき、ケアに活かせるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主治医、医療連携看護師との連携によって、24時間緊急時の対応が出来るようにしている。また地域の歯科、理容室の協力により、希望時に対応出来るように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域公民館、市役所、学校、地域ボランティア等、関係機関に働きかけている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	守屋病院をかかりつけ医として、24時間体制で医療連携が図られている。他科については、家族の協力を得ている。	入居時に全員が協力医療機関をかかりつけ医に希望しており、24時間医療連携体制がとられている。週1回外来看護師の訪問による健康管理と3ヶ月に1回の医療機関受診があり、緊急時も適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>病院の看護師と医療連携体制を取り日常生活の様子変化等を報告し気に掛かることは随時相談している。週1回訪問時に状況報告を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医師と話をする機会を持ち、対応可能な段階で、なるべく早く退院出来るよう連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に看とりケアは行っていない事を家族へ話している。重度化した場合においては、ホームで提供できる範囲を見極めながら、本人、家族、連携医療機関と協力を行って行けるよう取り組んでいる</p>	<p>入居時に指針で事業所の方針を説明し、重度化の場合の選択肢についても説明している。食事が摂れなくなった場合等、主治医から家族への説明に管理者が同席し、家族の意向を確認している。家族の意向に沿って、主治医と協力し事業所でできる支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時マニュアル、事故防止対策、緊急連絡網を作成し定期的な訓練をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>二か月に一度防災自主訓練を行ない全職員で周知を行なっている。近隣住民、自治会長、民生員の協力を得て連絡先を記載、訓練への参加をお願いしている。備蓄品は施設、守屋病院にもある。</p>	<p>2ヶ月に1回、昼夜想定 of 火災・水害避難訓練を実施している。コロナ禍のため、消防署及び地域住民の参加は見合わせているが、緊急連絡網に近隣住民の記載があり、地域との協力体制は築いている。非常用の備蓄は、水・御飯・レトルト食品・味噌汁等の食料やガスコンロを確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し、プライバシーを損ねないように配慮しながら不適切な言葉掛けや対応がないよう、スタッフ間で注意しあっている。利用者の出来ることを把握し、存続できるような支援をしている。	法人で接遇研修を実施し参加している。人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないように、さん付けで呼びかけ、入室時やケア実施前の声掛けを行っている。申し送りは利用者のいない所で実施している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が思いを表現できる自己決定ができる環境作りや言葉かけに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の嗜好に添って出来る限り、楽しむ食事を目指している。出来る方には、片づけをして頂いたりテーブルを拭いて頂いたりしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	こだわりや好み、これまでの習慣を把握理解して楽しみをもち居心地よく生活できるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片づけをしている	好みに合った料理や季節感のある食事ができるように努めている。入居者にあわせて、食事形態もかえている。	法人管理栄養士が毎月巡回し、嗜好調査や献立作成をしている。行事食や誕生日の特別メニューで季節感を味わえるよう工夫し、食べやすい食事形態で提供している。利用者も下ごしらえやお盆拭きをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士が立てたバランスの良い献立を元に個々の状態に合わせた食事を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、見守りにより口腔ケアをしている。歯ブラシ・コップは毎週消毒をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、しっかりと排泄が出来る状態を作っている。使用するパットにおいても、スタッフ間で話し合いを行っている。可能な限りおむつを外しトイレ誘導を行っている。</p>	<p>チェック表で把握した個々の排泄パターンを参考に声掛け誘導を行ない、昼間はトイレでの排泄を基本に支援している。夜間は転倒予防等のため、ポータブルトイレやオムツを使用する利用者もいる。排泄用品は個々に合った適切なものを検討して使用している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取や本人に合った運動の働きかけをし、毎日看護師とも連携している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週二回以上の入浴を目標に、一人一人の希望やタイミング、特に体調などに気を付けて楽しんで入浴出来るよう努めている。	週2～3回を基本に入浴支援を実施しており、体調により清拭やシャワー浴・足浴を実施、同性介助にも対応するなど、安心して入浴を楽しんでもらえるように努めている。嫌がる場合も無理強いせず、個々に合わせた声掛けを工夫して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節に応じてエアコンなどを利用して環境整備を行い安心して眠れるよに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報書があり、目的や副作用等理解し変化があれば、主治医や連携看護師へ報告を行っている。服薬の際は必ず2名でチェックを行って飲み忘れがないか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を畳んだり、お盆などを拭いたり、レクリエーションなどで、歌を歌ったり体操などを行い、気分転換できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>年間行事で初詣やお花見など行っていたが、コロナ感染防止のため、自粛しているが、本人希望に沿い、外出や週2回程病院へリハビリへ行っている。</p>	<p>コロナ禍のため、外出行事は見合わせている。日常的には敷地内の散歩を行い、週2～3回のお医療機関リハビリを兼ねてのドライブや希望での外出を支援している。初詣は鳥居やお賽銭箱・おみくじを作成し事業所内で楽しく実施した。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族よりお金を預かり、ホームで管理させて頂き、入居者へお金を預かっていることを伝え、ほしいものや必要な物は購入できることも伝えてあり、安心されている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>公衆電話の設置、携帯電話の持ち込みをして頂いたり、必要な時には家族への電話の取り次ぎ等の支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室、フロアの大戸、湿度チェックし、常時空調の調節を実施している。季節感を感じられるように壁面に季節のものを飾る等の工夫をしている。</p>	<p>ホールは明るく、空気清浄機や加湿器・エアコンで適度な室内環境を調節し、換気も十分行っている。壁には作品や絵手紙等の季節感のあるものを飾り、掃き出し窓から自由にテラスに出たり、室内のソファ等の好みの場所でくつろげるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアにソファを置き、好きな場所でゆっくり過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、馴染みの物を持ち込んでいたり、必要に応じて家族に持って来て頂いてこれまでの生活が継続できるように心がけている。</p>	<p>居室にはベッドやエアコン・タンスが置かれ、寝具はレンタルが多い。使い慣れたテレビやイス・仏壇を持ち込んだり、好みの洋服を出して掛けている。家族の写真を飾って本人が落ち着いて過ごせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人が分かるように居室入口に目印をつけている。ギャッジベッドを設置しているため、その時の状況に合わせて使用している、安全に移動できるように、常に環境整備も行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない